

## 研究課題

## 交通需要モデルによる交通政策評価

### 研究概要・目的

交通政策には、道路や鉄道の建設のようなハード整備から、料金・規制・情報提供といったソフト施策まで幅広い。また、ITSや次世代自動車などの新しいモビリティの姿も登場している。本研究では、個人の交通行動を詳細に表現する需要モデルを構築し、交通政策に対する需要分析や新しい政策の評価と提案を行う。

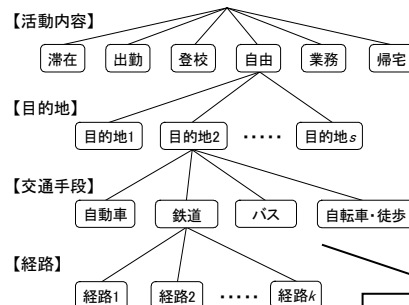
### キーワード

交通需要予測、交通政策評価

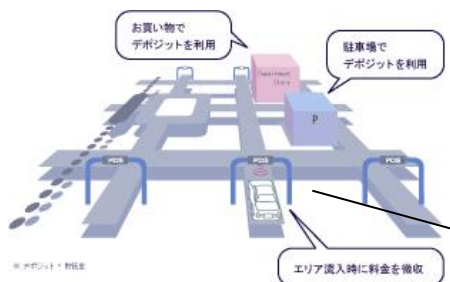
### 技術シーズ

交通の発生・目的地・手段・経路というすべての選択要因を組み込んだ統合型の時間帯別均衡モデルを構築する。これにより、道路インフラ整備やソフト政策のインパクトが、経路、渋滞による所要時間、交通手段、目的地、活動、それぞれに与える影響を加味した、需要予測と政策評価が行える。

また、社会的受容性の高い都心部乗入れ課金制度PDSなどの提案も行っている。

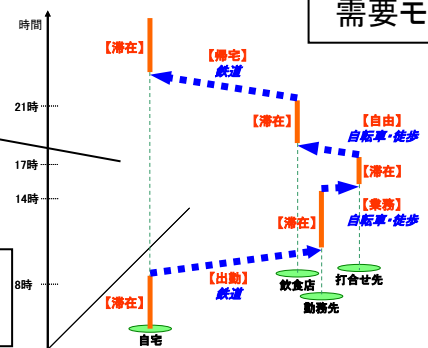


統合型交通需要モデル



時空間上で交通行動を再現

新しい都市交通政策PDSの効果



### 連絡先

森川 高行  
山本 俊行  
三輪 富生

morikawa@nagoya-u.jp  
yamamoto@civil.nagoya-u.ac.jp  
miwa@nagoya-u.jp